

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック「ロータリーのマジック」

2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」

2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2421回例会

2025-3-5

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 宮川 慎太郎 副SAA
- ◎四つのテスト 宮川 慎太郎 副SAA



ソングリーダー 宮川慎太郎 副SAA



新たな発見も多いかと存じます。今日を通じ、皆様とお二人との距離がより縮まりましたら幸いです。

結びに、ノロウイルスなどの感染症が流行っている模様です。皆様どうぞご自愛下さい。

後程のスピーチの時間に支障をきたしてはいけませんので、簡単、雑駁ですが、会長挨拶とさせていただきます。

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

皆様こんにちは。本日も多くの会員のご出席をいただきまして有難うございます。

三寒四温、寒い日もありますが早いもので3月に入り関東では梅が開花し、先日の日曜日は「旧暦の初午祭」、月曜日は「ひな祭り」と、少しずつ春であることを感じています。

ロータリーを見ましても、今月は「水と衛生」の月間です。身近な国内も大切ですが、世界に目を向け実情を知り、改善への奉仕の思いを巡らせることも重要であると考えます。

さて、先月の宮川会員の素晴らしいスピーチに続いて、本日は木下会員、竹下会員のスピーチであります。普段の会話からは知り得なかった、これまでのご足跡、お人柄など、

「理事会報告」(3/5分)

会長 三上隆俊

1) 高野邦夫会員の件

慶弔金内規により、病気見舞いとして10,000円支出

「幹事報告」

幹事 田中幸彦



志木ロータリークラブ 例会日/毎週水曜日(12:30～13:30) 創立/昭和47年1月17日

例会場・事務所/〒353-0004 志木市本町5-17-3 埼玉りそな銀行志木支店内 TEL 048-474-2125 FAX 048-487-3100

3 月は「水と衛生月間」です

1. 国際ロータリー日本事務局より 2 件受信
①3 月のレート\$1=¥150
②水と衛生月間リソース案内
2. 地区事務所より「ノスタルジックカーフェスタ」参加車両募集案内受信
日時：5 月 11 日(日) 10:00～13:30
場所：本庄総合公園
目的：「ポリオ根絶」「ロータリー希望の風奨学金」の募金活動
主催：RI 第 2570 地区社会奉仕委員会
3. バギオだより Vol.107 2025 年 3 月号

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員 戸國大介



- 1 日 内海俊宏名誉会員
7 日 宮川慎太郎会員 17 日 影山和良会員

「誕生日スピーチ」 影山和良会員

この間の大坂マラソンで折り返し地点を間違えるということがありましたが、人生人それぞれで、折り返し地点はもう過ぎたかもしれませんが、残りの人生頑張って走っていきたいと思います。(談)

「委員会報告」

- 社会奉仕委員会 委員長 西川和人



ロータリーの森清掃

3/12(水) 10:30～12:00

さくらフェスタ（人力車運営）

3/23(日) 午前・午後に分かれて対応

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌・R 情報委員会 委員 原 孝一



『ロータリーの友』3 月号記事紹介

【横組】

P14-19 RI 指定記事 マリオについて知っておくべきこと

(次年度 RI 会長についてあれこれ)

P39 RI 指定記事 ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
半分満たされたコップ

【縦組】

P9-12 この人訪ねて「平野幸司さん」

「卓 話 ①」 Initiation Speech

「イニシエーションスピーチ」

木下哲男会員



始めに、改めて自己紹介をさせていただきます。木下建設株式会社の木下家次男の木下哲男と申します。1979 年、昭和 54 年生まれ、今年 5 月で 46 歳になります。

家族構成は、去年年末忘年会の物まねパブと一緒に連れてきた中学 1 年生の娘と若干 1 名の妻との 3 人家族です。

父は、昔からあまり外で飲み歩く感じが無くとてもまじめな人柄です。母は父の性格とは反対に活発的で朝霞法人会女性部、部会長をしており、宮川さんのお母様と國分副会長の奥様に大変お世話になっていて仲良くさせて頂いているとよく母から話を聞きます。

兄弟については3兄弟全員男で、3兄弟とも身体だけは大きく育って今は仲良く一緒に仕事をしています。

次に弊社の事を少し紹介させていただきます。木下建設の始まりは戦争終了後の復興時に祖父・木下康次郎が地元の近しい仲間たちと始めた土方の集まり、木下組から始まりました。

その後、

1963年昭和38年5月に祖父の木下康次郎が個人営業として創業

1965年昭和40年5月に有限会社木下建設創立

1963年昭和43年12月に木下建設株式会社に組織変更

1995年平成7年9月に父の木下貞男が2代目社長就任

2023年令和5年6月に兄の木下武久が3代目社長就任となり今年で創立62年になりました。官公庁及び民間の土木工事、舗装工事、建築工事の施工に当り努力してまいりました。

建設業においてインフラの整備等必ず必要な事業だと確信しております。その中で職員・作業員の高齢化、人員の減少、様々な問題がありますが、これらも試練と捉え、地域に貢献できるような建設業を目指して尽力してまいりたいと思います。

祖父の木下康次郎は今は無くなってしまった志木ライオンズクラブの創立に係っていたと聞いています。

続いて生い立ちを話させていただきます。地元の幼稚園、宗岡第三小学校、宗岡第二中学校に進学し、高校からは志木市から出てしまい、その後、都内の建設会社に従事し実家の家業に戻ってまいりました。

中学進学後は、漫画スラムダンクの影響でバスケットボール部に入りました。背が高い事もありすぐにバスケ部の顧問に勧誘されました。当時のバスケ部顧問の先生は前任の中学校指導に全国大会優勝に導いた先生でした。その指導のおかげで、全くの初心者だった自

分を鍛えてもらい自身の代で県大会出場でき、県のベスト16まで勝ち続けることができ、とてもいい記憶として覚えています。

勉強は全くと言っていいほどに出来なかったのですが、中学時代の部活指導のお陰もあり、高校ではバスケットで各運動部推薦にて入学した集まりの体育コースというクラスに入り、3年間部活に専念しました。部活に関してバスケット部は当時埼玉県で優勝するような学校で、またここでもとても厳しい指導を3年間受けさせて頂き、インターハイなど色々な大会に出場させて頂きました。その様々な経験が今でも大変自分の支えになっていると思います。

就職について高校3年時、漠然と兄弟で家業を継ぐのだろうと思っていました。その考えもあり、兄の武久も通っていた土木の2年制の専門学校に卒業後通いました。

その後、都内の建設会社に修行としては大分長い14年間勤めました。その間に社会人として責任感の重さ、仕事の大変さ、人間関係など様々な経験をして34歳に木下建設に入社して今日に至ります。

趣味はバスケットボール・ゴルフ・クレーンゲームです。バスケットは4年前のコロナ前までは週3・4ペースで練習をしており、知人とチームを作り社会人の大会に参加していました。今は怪我の心配からあまり参加出来ていません。ゴルフに関しては30代前半から、妻の打ちっ放し練習の付き添いで行ったのをきっかけに始めて面白い事に気付き、友達と行くようになりようやく最近人並みになったと思っております。クレーンゲームに関しては取った景品は会社の玄関口に飾らせてもらっています。

地域活動について

私は地域活動にこれまで参加してきておらず、父と兄の武久に地域活動等を任せていました。父も兄も色々と忙しくなっていく中、3兄弟ということもあり色々な会合に行かせて頂くことになりました。去年初めて道路適正化協会・法人会青年部に加入させて頂きました。いまだにおどおどしております。

その中で先日、親睦委員長・大村さん、スポーツ担当・吉原さんに開催して頂いた志木RC単独ゴルフコンペに参加させて頂きまし

た。一緒にラウンドさせて頂いた遠藤さん、鈴木さん、細田さん、色々ご迷惑をかけてしまい大変申し訳ありませんでした。スコア自体は全くダメでしたが、楽しくラウンドさせて頂きました。またその後の懇親会も大変楽しく過ごさせて頂きました。こんなに世代の違う方々が一緒に活動できるのはロータリーだからだと思い、とても良いなと感じました。

今後のロータリー活動について

前回 2 月 26 日の例会に三上会長が挨拶に話されていた 孔子の言葉

才ある者は、努力する者に勝てず 努力する者は、楽しむ者に勝てず 楽しむ人は無敵。どの分野でも成果を出している人はきっと人生を楽しんでいます。という話を聞きその言葉がずっと頭の中に残っていました。

自分も伝統ある志木ロータリークラブに入会させて頂き楽しもうと思いました。また永くロータリアンとして活動できるよう努力してまいります。

今後、何も分からず色々ご迷惑をおかけすることも多々あると思います。色々ご指導いただき精進していきたいと思っています。

伝統ある志木ロータリークラブに入会させて頂き改めて皆さまに深く御礼申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

(※紙面の都合により、要約させていただきました)

「卓 話 ②」 Initiation Speech

「志木ロータリーと共に、新たなステージへ」

竹下尚宏会員



1. 自己紹介と経歴紹介

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。1989 年朝霞市で生まれ、6 歳の頃新座市に引っ越しました。新座の小中学校を卒業し、高校、大学とこの地域で育ちました。

就職後に一度は地元を離れましたが、コロナ禍と同時に新座に戻り、この地域で 30 年近くを過ごしていることになります。大学卒業後、独立系 IT 企業に入社し、システムエンジニアとして大手保険会社や銀行、官公庁のシステム開発に携わりました。IT 企業では大規模システム、インフラシステムの開発保守など、大変貴重な経験をさせていただき、技術的にも精神的にも成長することができました。しかし、大規模システムの開発には大変な労力も伴い、退職するに至りました。

その後、渋谷の某公共放送局でメジャーリーグの番組制作に IT 面から携わったり、写真スタジオでカメラマンとして、いわゆる宣材写真の撮影をしたりなど、フリーランスとして貴重な経験をさせていただきました。これらの経験は、私にとってかけがえのない財産となり、新たな視点を与えてくれました。

そして 2021 年、合同会社志木テックを設立し、代表社員として今に至ります。

まだまだ小さな会社でして、色々な方々にご協力いただきながらなんとか日々をこなすことで精一杯という状況です。

2. 現在の事業について

弊社は「IT に関わる何でも屋さん」として、主に中小企業の方々の DX 化や IT 化のお手伝いをさせていただいております。

WEB サイト制作、リニューアルを始めとしてシステム開発保守、SNS 運用やコンサルティングといったソフトウェア、インターネット事業から、PC 修理やサーバー導入、事務所のネットワーク構築といったハードウェア事業まで広く事業を展開しております。最近では AI の分野にも挑戦しており、このスピーチも AI を活用して作成いたしました。

3. 趣味について

①神社仏閣巡り（旅行）

子供の頃から両親に連れられ、色々な場所に旅行した経験から今でも旅行が趣味です。また、高校生くらいの頃にインターネットで見た「日ユ同祖論」という都市伝説を切っ掛けに日本の歴史や民俗学に興味を持ち、大学では全国各地の神社仏閣を巡り、「日本人と神道の起源」というテーマで卒論を書きました。

②野球

私の人生を語る上で欠かせないのが、野球

です。父親の影響で幼少の頃から野球に触れ、小学校 2 年から現在まで野球を続けています。

現在は、社会人の硬式野球クラブ「新座ダイヤモンドドッグス」で部長兼選手として、チームを運営する側にも回っています。萩本欽一さんが設立した茨城ゴールデンゴールズや、日通、ホンダなどの実業団と同じ連盟に所属し、アマチュア最高峰のレベルです。

しかし、実業団と違い、地域のサークルであるが故の高額な個人負担が運営の大きな課題です。もし、この場で少しでもご興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、ぜひスポンサーとしてご支援いただけると幸いです。

③スペシャルティコーヒー

この趣味が高じて、この春には全国各地のスペシャルティコーヒー専門店を紹介する「全国スペシャルティコーヒーマップ」という WEB サービス事業を開始する予定です。サービス開始の暁には、是非公開されたサイトをご覧くださいければ幸いです。

4. 志木テック設立とロータリークラブ入会の切っ掛け

①志木テックの設立とロータリークラブへ至る出会い

ご存知の方もいるかと思いますが、弊社は「志木グループ」というグループ企業の一員です。その代表企業が「㈱志木設備メンテナンス」であり、今回ご紹介するのがその取締役社長である山田大智です。

実は彼とは高校時代の同級生であり、同じ野球部に所属していた縁がありました。そんな彼に紹介いただいたのが大村さんでした。

②ロータリークラブへの入会動機

弊社設立後も、お客様とコミュニケーションを取ったり飲み会に出たり、ということもあまりなく、山田の紹介で入会した商工会にも殆ど顔を出せない状況でした。

そんな中、山田から「飲み会が苦手ならロータリーはどう？」というお誘いがあり、大村さんにお会いするに至りました。

お会いしてみると、20 近くも歳の離れた若者に真剣に向き合ってくださった上で入会をお誘いいただきました。

「今の生活や自分自身が少しでも変わる切っ掛けを作りたい」という思いもありましたが、自分自身でも「経験の浅い若輩者」と自

覚しているような私に対して、大村さんは「対等な大人」として向き合ってください、「こんな方にお誘いいただくのであれば是非入会してみたい」と思ったことが一番の動機です。

5. ロータリークラブに入会して

前述のような切っ掛けで入会した志木ロータリークラブですが、会員の皆様は想像していた通りの素敵な方々ばかりです。

私が逆の立場で、自分たちのコミュニティにどこの馬の骨ともわからない変な髪色をした若者が入会してきた時、果たしてあたたかく迎え入れることが出来るだろうか、と考えた時に、改めて皆様の寛大なお心に対して、感謝の申し上げようもございません。

入会してから日は浅いですが、先輩方から大変印象に残るお言葉をいただきました。

一つは「一緒にスマイルをしようよ。スマイルをすると、もっと寄付をするためにもっと仕事を頑張らないと、という気持ちになれるよ」というお言葉です。

仕事に対して自分の生活が成り立つ程度で満足していた私にとって、非常に印象に残る一言でした。

もう一つは「遠慮しなくていいよ。同じロータリーの仲間なんだから」というお言葉です。色々な先輩方に同じようにお声掛けいただきました。

先輩方からすると何気ない一言であると察しますが、私にとっては「ここまで暖かく受け入れてくださる先輩方に対して、そしてこんな自分でも誰かのためになるのであれば、少しでも役立てるようにロータリーと仕事を頑張っていきたい」と思える切っ掛けとなる言葉でした。

まだまだわからないことばかりの若輩者ではございますが、「若いから」を言い訳とせず、少しでも志木ロータリークラブの力になれるよう精進してまいりますので、どうぞ、今後よろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。

(※紙面の都合により、要約させていただきました)



スマイル・神山威仁副SAA 出席・市之瀬正靖委員

●出席報告 出席向上委員 市之瀬正靖

会員数51名 出席義務者48名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
42名	9名	84. 00%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(0名中0名)	100%	82. 41%